

## 医療法人財団慈生会 野村病院 入院された患者様へ

野村病院 回復期病棟では以下の臨床研究を実施しております。この研究は、回復期病棟入院患者様の過去の検査結果をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族様の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

|                         |   |
|-------------------------|---|
| <b>対象となる方</b>           | 2022年5月1日から2023年8月31日に野村病院回復期病棟に入院された、又はされている方  |
| <b>研究課題名</b>            | 回復期病棟入院患者における歯科治療介入が及ぼす影響の検討<br>(倫理委員会承認番号 J2023-004)   |
| <b>単独・他施設</b>           | 野村病院回復期病棟 単施設研究   |
| <b>主任研究者</b>            | 医療法人財団慈生会 野村病院 百瀬由佳   |
| <b>当センターの共同研究者</b>      | 医療法人財団慈生会 野村病院 吉野秀朗   |
| <b>本研究の目的</b>           | 歯科治療が身体機能、認知機能、栄養状態、嚥下機能、予後等にどのような影響を及ぼすか確認します。   |
| <b>研究の背景</b>            | 近年高齢者の口腔機能低下が身体機能低下、認知機能低下に関連していることが注目されており、口腔機能を改善させる歯科治療も同様の効果があると考えられます。回復期病棟では2022年5月より日本歯科大学多摩クリニックと連携し口腔内の評価を開始し、歯科治療が必要な方は定期的な入院中の歯科治療を行っています。回復期病棟は比較的入院期間が長いいため継続的歯科治療の介入できる環境となっています。しかし、回復期施設で定期的歯科治療を行っている施設は少なく、歯科治療介入が身体や認知・嚥下機能、栄養状態等にどのような影響があるかを検討した報告は少ないため、今回回復期病棟入院患者様を歯科治療した患者様と歯科未治療患者様の2群に分けて身体機能、認知機能、嚥下機能、栄養状態、予後に及ぼす影響を明らかにします。 |
| <b>利用する情報</b>           | カルテ情報から参照<br>診断名、年齢、性別、BMI、認知機能評価、機能的自立度評価、食形態、嚥下訓練の有無、血液検査、帰結先   |
| <b>研究実施期間</b>           | 病院長承認日～2024年5月31日   |
| <b>個人情報の取り扱い</b>        | お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、特定の個人を識別することができるような情報は削除してデータの処理を行います。学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。また、本研究に関わる記録・資料は2029年5月31日まで保存いたします。本研究に関わる記録・資料の保管責任者は野村病院百瀬由佳となります。  |
| <b>相談窓口<br/>お問い合わせ先</b> | 医療法人財団慈生会 野村病院 百瀬由佳<br>電話 0422-47-4848 (代表)   |
| <b>備 考</b>              |   |